

地域密着型金融の取り組みについて
(平成25年度)

佐賀西信用組合

項目	具体的な取組み	スケジュール	進捗状況	備考(計画の詳細)
		25年度	25年4月～26年3月	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化				
(1) 事業再生支援	①中小企業再生支援協議会、外部専門家等との連携を図り、事業再生支援に積極的に取り組む。 ②相談業務の処理能力向上を図る。 ③企業再生スキーム習得の為に、外部研修等へ積極的に参加する。 ④経営革新等支援機関として外部機関及び専門家との連携を図り、事業再生支援に努める。	①企業規模に関係なく、事業再生が可能と判断した取引先には助言・指導を行うと共に、中小企業再生支援協議会等の外部機関の活用を図る。 ②商工会等と連絡を密にして情報収集や情報提供を行う。 ③定期的なモニタリングを実施し再生に向けての支援を強化する。 ④債権管理に関する知識の向上を図り、スペシャリスト養成を目指す。 ⑤経営革新等支援機関定例会に参加し、情報収集や情報提供を行う。 ⑥5月22日～5月23日に実施される出口戦略講座・事業再生の見極めに5名派遣予定。	・中小企業再生支援協議会・保証協会と一体となって老舗旅館と建設業者2社、遊園地と金属加工業、土産品店に対してモニタリングを継続し、事業再生に取り組んでいる。 ・5月22日～5月23日実施の出口戦略講座・事業再生の見極めに5名派遣した。 ・7月22日～7月23日実施の経営改善・事業再生研修に2名参加した。 ・1月16日実施の経営革新等支援機関定例会に1名参加した。 ・経営革新等支援機関として中小企業診断協会と連携して1先事業再生支援に努めている。	
(2) 創業・新事業支援	①商工会等との連携を強化し新規案件発掘に向け積極的に取り組む。 ②創業、新事業に対する融資審査態勢の強化、体制づくりを行う。 ③経営革新等支援機関として外部機関及び専門家との連携を図り、創業・新事業支援に努める。	①商工会等との連携を強化し、公的制度等の紹介等を行う。また、市街地活性化の為に空き店舗対策資金の推進を行う。 ②新事業に対し事業の採算性、将来性に着目し資金面など協力を行う。 ③外部・内部研修にて能力向上を図る。	・経営改善支援先30先についてランクアップに向けた取組みを行い、2ヶ月毎に支援先の進捗状況を本部に報告し、営業店と本部の情報の共有化を図り一体となって支援を行っている。 ・経営革新等支援機関として3先の補助金申請策定支援を行った。	・創業支援資金 3先 16百万円 ・新事業活動促進資金 1先 5百万円 ・経営改善支援先 3先ランクアップ
(3) 経営改善支援	①支援先へ役員等の定期訪問を実施し、業況や問題点の把握に努める。 ②経営改善支援先のランクアップを図る。 ③他機関との連携を図る。 ④職員のコンサルタント能力向上を図るために、外部研修等へ積極的に参加する。 ⑤金融円滑化法終了後の貸付条件の変更等の円滑な対応に努める。 ⑥経営革新等支援機関として外部機関及び専門家との連携を図り、経営改善支援に努める。	①新たに選定した経営改善支援取組先には役員自らも訪問・面談し、情報収集に努め助言・指導を行う。 ②2ヶ月毎に支援先の進捗状況を本部に報告し、営業店と本部の情報の共有化を図ると共に、一体となって支援を行う。 ③ケースによっては他行との協調融資も視野に入れ支援する。 ④経営改善支援センターを活用した経営改善に取り組む。 ⑤8月7日～8月8日に実施される課題解決型営業研修講座に4名派遣予定。	・7月22日～7月23日実施の経営改善・事業再生研修に2名参加した。 ・8月7日～8月8日実施の課題解決型営業研修講座に7名派遣した。 ・金融円滑化法終了後の貸付条件の変更等の累計受付状況は132件の1,110百万円となった。	・金融円滑化法終了後の平成25年度中の貸付条件変更受付 132件、金額1,110百万円
(4) 事業承継	①相続等に係る相談業務に精通した人材を増やす。 ②外部専門家との連携を密に行う。 ③外部・内部研修にて知識の向上を図る。 ④経営革新等支援機関として専門家との連携を図り、事業継承支援に努める。	①相談に対し積極的に携わり、本部・営業店一体となってソリューションを進める。 ②外部専門家の紹介を積極的に行う。 ③職員の能力アップのために、外部等の研修に積極的に参加する。	・9月15日実施の相続顧客対応セミナーに17名参加した。 ・具体的な相談事例は発生していないが、顧客からの申込み相談には真摯に対応するよう周知徹底している。	
(5) 人材の育成	①外部研修、各種団体主催のセミナーに参加し、支援を担う人材を育成する。 ②内部研修等により、職員の能力向上に努める。 ③必須資格取得及び公的資格取得の奨励	①九州生産性大学「マネジメント能力開発コース」に1名派遣予定。 ②信組協会主催の講座に多数派遣予定。 ③6月11日～6月12日実施の中間管理職パワーアップ講座へ4名派遣予定。 ④毎月2回の内部研修内容を充実させ、人材育成に力を入れる。	・4月開講した九州生産性大学「マネジメント能力開発コース」へ1名派遣した。 ・6月5日～6月6日実施の窓口担当者レベルアップ講座へ6名派遣した。 ・6月11日～6月12日実施の中間管理職パワーアップ講座へ4名派遣した。 ・11月20日実施の経営革新等支援機関テーマ別勉強会に2名参加した。 ・11月22日～11月23日実施の高齢者取引トラブル対策実務講座に5名派遣した。 ・25年度の内部研修は19回実施し、延べ562名が参加した。	
2. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底				
(1) 担保、保証に過度に依存しない融資	①提案型融資の拡大を図る。 ②職員の目利き能力向上の為に、外部研修等積極的に参加する。 ③目利き能力を活かし、小口多数主義に徹して過度に担保・保証に依存しない融資推進を図る。	①外部、内部研修にて知識の向上を図る。 ②11月7日～11月8日に実施される融資審査講座に5名派遣予定。	・11月7日～11月8日実施の融資審査講座に5名派遣した。	
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	①信用保証制度を活用する。 ②ニーズに対し迅速で細やかな対応に徹する。	①取引先と営業店、営業店と本部のコミュニケーションの充実を図る。 ②小口かつ業種分散融資を基本理念とし貸倒リスクを出来る限りヘッジするために、動産・債権譲渡担保融資・ABL融資制度への理解を深めるよう研修会等に参加する。 ③創立60周年記念運動として法人・個人事業主向けの事業資金キャンペーン商品を導入する。	・創立60周年記念運動として法人・個人事業主の事業資金向けのキャンペーン商品を導入し、推進を図った。	法人・個人事業主向けの事業資金キャンペーンの実行件数・金額 ・スピリッツローン 122件 1,006百万円 ・ご近所ローン 81件 231百万円
(3) 協同組織中央機関との連携	①全国信用組合中央協会等の上部団体との連携を密にする。 ②九州経済産業局との連携を確立し、ネットワークを推進する。	①上部団体主催の研修へ積極参加し、企業再生スキーム等知識の習得を図る。 ②九州地域新産業支援プラットフォームに参画しており、可能な限りの支援を行う。	・九州経済産業局主催の経営革新等支援機関定例会に参加した。	
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献				
(1) 地域経済への積極的な支援	①地域経済の活性化に向けて積極的な役割を果たす。 ②他機関との連携を図る。 ③地域の活性化に向け、人的貢献を図る。	①商工会議所と連携し、市街地活性化のための空き店舗対策資金等を推進する。 ②公的機関の紹介を行う。 ③地域活性化及び連携を図るため、地域行事に積極的に参加する。	・8月9日鹿島市恒例行事である”かしまおどり”に40名参加し太良・塩田地区にも参加した。 ・9月7日蟻尾山公園の清掃作業を実施した。(95名参加)	
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	①地域の中小企業事業者等を対象にセミナー等を開催する。 ② お客様アンケート調査を実施し、業務の改善に努める。	①地域の中小企業事業者、後継者、経理担当者を対象にセミナー等の開催を検討 ②多重債務者の予防策についての相談、講演等の依頼には積極的に参加し、金融経済の教育・指導を行う。また、「お客様アンケート調査」を実施し、業務の改善に努める。 ③創立60周年記念運動として法人・個人事業主の事業資金向けのキャンペーン商品を導入する。	・12月6日さがん中小企業支援ネットワーク会議に1名参加した。	
4. 進捗状況の公表				
	①全体の取組み状況を年1回公表する。	①ディスクロージャー誌により公表する。 ②ホームページにて公表する。 ③営業店内に掲示公表する。	・5月27日にホームページ上に公開した。 ・6月19日営業店内に掲示し、公表した。 ・7月29日にディスクロージャー誌発刊。	